

林福連携で目指す私たちの挑戦！～通潤パズルで地域の人々を元気に～

【取り組み内容】

- ・ 認知症予防パズル第2弾を開発し、町内外のイベントで紹介。
- ・ 第1弾は障がい者就労支援施設、第2弾は矢部高校の授業で製造。
- ・ 町内外のイベントでパズル大会やパズル体験を開催して普及。
- ・ 高齢者福祉施設や幼稚園・保育園などの施設が購入し活用。
- ・ 道の駅「通潤橋」で販売。毎月20個程度の売り上げ。
- ・ 4年間で累計販売数1,000個を達成。
- ・ 大阪万博関連イベントでの展示。外部有識者の効果検証。



評価項目ごとの取り組みの特徴・ポイント

普遍性	行政・企業・社協・福祉施設と連携、県産材を活用した安価で誰でも手に取れる福祉用具（認知予防パズル）を開発・普及・販売。
包摂性	高齢者等の認知症発症リスクの低減が見込まれる。幼児の知育玩具としても活用が可能で、全国からの注文がある。道の駅でも販売。
協働性	山都町、社会福祉協議会、(株)Re学、ワークセンターあゆの里など行政や専門家との連携で持続可能な取り組みへと発展。
統合性	木材の活用、福祉課題の解決、道の駅で販売等。地域経済・観光に貢献し、林業・木材産業との連携など産業を結ぶ取り組み。
透明性	P D C Aサイクルに基づいた探究的な学びを实践。森林学会など様々な場で発表し、専門家とのつながりを活動の発展につなげている。

貢献するSDGsのゴール

